

かわさきチャレンジ・3R ニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。

第25号

平成26年7月発行



第11期 川崎市廃棄物減量指導員委嘱式を開催しました。



環境局長から代表者へ委嘱状を伝達



指導員による活動成果の発表

平成26年5月に7区で川崎市廃棄物減量指導員委嘱式を開催しました。

委嘱式では、指導員の皆さんから日頃の活動成果について発表していただくとともに、生活環境事業所の職員から本市のごみ処理状況の現状について報告しました。

廃棄物減量指導員の皆さんは、各住民組織団体からの推薦により、市長から2年間の任期で委嘱を受け、今後は、地域におけるごみ減量とリサイクルのボランティアリーダーとして、また、市と市民のパイプ役として活動していただきます。

ヨネッティー王禅寺の休館について

王禅寺余熱利用市民施設(ヨネッティー王禅寺)は、開館から20年以上が経過し、建物及び各設備の老朽化が進行しています。このため、これからも利用者の方々に安心して安全に長い間ご利用いただけるように、今年度から3か年の比較的用户の少ない時期に大規模改修工事の実施を予定しており、今年度については、平成26年10月から平成27年3月までの期間で工事(屋根の改修及び消防設備、照明等の電気設備の改修)を実施する予定です。



ヨネッティー王禅寺全景

大規模改修工事の期間中は、工事を安全に実施するため、全館休館とさせていただきます。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

休館期間

平成26年10月1日(水)から平成27年3月下旬まで

※営業再開日は、市政だより、ホームページ等でお知らせします。



夏場の生ごみ対策について

昨年9月にごみ収集体制を変更以降、市民の皆様のご協力により、ごみの減量と資源化が進んでいます。収集体制変更後、初めて本格的な夏場を迎えるにあたり、本市でも様々な生ごみ対策を行っておりますので、より一層の生ごみの減量とリサイクルにご協力をお願いします。市民の皆様におかれましては、ライフスタイルに応じた生ごみの減量・リサイクルにできることからチャレンジしてみてください。

生ごみ対策の啓発キャンペーンを実施します。

環境局では、原則として毎月3日(日曜日の場合は4日)を「3R推進デー」と定め、広く市民の皆様にご理解いただくための取組を各生活環境事業所が進めています。

7月、8月、9月の3R推進デーに、各区のスーパー等で生ごみ対策に重点を置いた啓発キャンペーンを実施いたします。



生ごみの約80%は水分です。
この水分が腐敗や臭いの原因になります。

- 1 必要以上に買わない
- 2 食べ残しをしない
- 3 水切りを行う

まずは身近なところから始めましょう。



かわさき3R推進キャラクター
かわるん



めらさない

- ◆野菜などの皮は早めに洗い、乾いたものを調理に使いましょう。
- ◆調理中の野菜くずなどは排水口にためず、余分な水分を吸収させないようにしましょう。



水切りのコツ



押ししぼる

- ◆三角コーナーにたまった生ごみをビンなどの底でギュッギュッと押し絞り、手も汚さず簡単!
- ◆三角コーナーにネットを取り付け、ネットごと最後のひとしぼりをしましょう!



夏場において、生ごみや紙おむつの臭いにお困りの場合は、お近くの生活環境事業所へ持ち込むことができます。

受入期間 平成26年7月1日(火)～9月30日(火)(日曜日を除く)

受入時間 9:30～11:30/13:30～15:30

【問2】 次のうち、廃棄物減量指導員の活動でないものはどれでしょう？

①ごみ減量の普及啓発 ②自転車マナーの向上 ③リサイクル活動の実践指導

(答えは4ページ下)

生ごみリサイクルに関する取組のご案内

生ごみは、微生物を活用することにより、自分で土に還すことができる有機物の資源です。市では、生ごみリサイクルを推進するため、様々な取組で支援しています。詳細は市ホームページをご参照ください。

①家庭用生ごみ処理機等購入費助成制度

一般家庭から排出される生ごみの減量化・資源化を推進するため、家庭用電動生ごみ処理機や生ごみコンポスト化容器などを自ら使用する目的で購入した者に対して、購入費の一部を助成します。

市ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/24-1-13-2-2-0-0-0-0-.html>

②生ごみリサイクル活動助成制度

家庭から発生する生ごみを堆肥化し、「農地で作物を生産し地域に供給する活動」又は「公共の花壇で草花を生育する活動」により、堆肥を有効活用する市民団体に対し、活動費用の一部を助成します。皆で楽しく情報交換しながら取り組んでみませんか。

市ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/24-1-13-2-3-0-0-0-0-.html>

③生ごみリサイクルリーダー派遣制度

生ごみリサイクルの手法を知りたい、生ごみのリサイクルの過程で虫や臭いに困っている、地域の町内会で生ごみリサイクルに関する講習会を開催したいという時に、知識・経験豊富な生ごみリサイクルリーダーが実地指導したり、講師として活動しています。是非ご活用ください(派遣にはお申込が必要です。)

市ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/24-1-13-2-6-0-0-0-0-.html>

なお、生ごみリサイクルリーダーによる「生ごみリサイクル相談会」を次のとおり開催いたします。

④生ごみリサイクル相談会の開催

生ごみのリサイクルに関心のある方は、お気軽にお越しください。

【開催時間】全日程9時30分から12時まで(相談会は申込、参加費が不要です。)

平成26年7月17日(木)	田島支所 1階	平成26年11月28日(金)	多摩区役所 1階
平成26年8月28日(木)	大師支所 1階	平成26年12月15日(月)	宮前区役所 2階
平成26年10月20日(月)	幸区役所 1階	平成27年2月23日(月)	麻生区役所 2階

※中原区では9月にミニ講習会を、高津区では平成27年1月に相談会を開催予定です。
詳細は市ホームページや市政だより等でご案内いたします。



これから生ごみのリサイクルに取り組んでみたいという方は、冊子「チャレンジ生ごみダイエット」がお勧めです。是非、手に取ってご覧ください。各生活環境事業所や生ごみリサイクル相談会等で配布しています。

⑤生ごみリサイクル講習会の開催

生ごみの減量・リサイクルに関心のある市民を対象に、最近では、誰でも手軽に取り組めるダンボールコンポストによる生ごみリサイクルの手法を中心とした講習会を開催しています。関心はあるけど一歩が踏み出せないという方は、是非ご参加ください。開催時期等は、市政だよりや環境情報等でご案内いたします。

⑥生ごみリサイクル交流会の開催

市内で生ごみのリサイクル活動に取り組むグループの交流会を開催しています。お住まいの近くで生ごみリサイクルに取り組んでいる人達と出会えるかもしれません。交流の輪を広げながら取り組んでみたいという方は、是非ご参加ください。開催時期等は、市政だよりや環境情報等でご案内いたします。

このページの生ごみリサイクルに関するお問い合わせは環境局減量推進課減量推進係まで 【電話 200-2605】

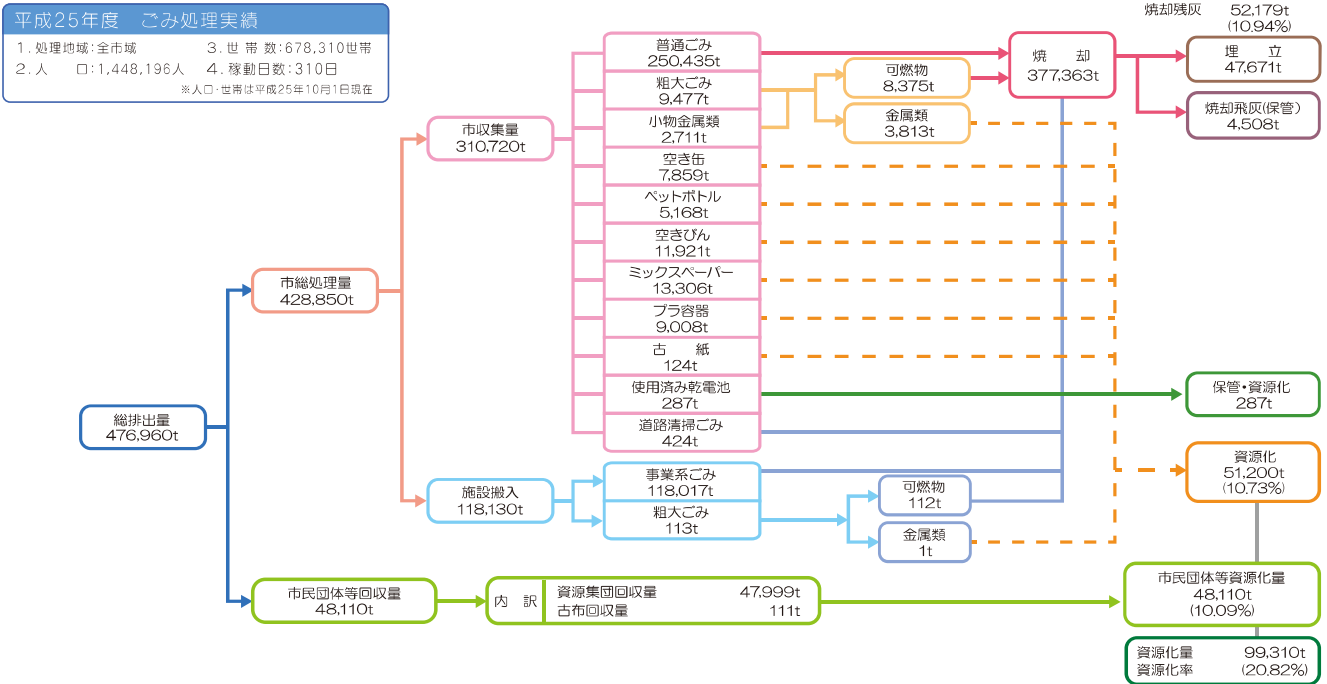
【問1】の答え ③・・・携帯電話は、小型家電として又は専売ショップ等で回収することにより、これまで以上に貴重な資源の回収ができるようになります。

【問3】 生ごみ減量の取組として有効でないものはどれでしょう？

- ①食材を上手にやりくりして使い切る
- ②野菜等を皮むきしなくても食べられるように調理する
- ③苦手なおかずは無理せず残す

(答えは2ページ下)

平成25年度 川崎市のごみ処理実績をお知らせします。



小型家電の回収状況について

本市では、貴金属やレアメタル等の資源の有効利用を目的として、平成25年10月から、市内18カ所に専用の回収ボックスを設置し、市民の皆さんのご協力のもと、ご家庭で不要となった小型家電製品の回収を行っており、昨年度は6カ月で約8,000個(約2,500kg)の小型家電が回収できました。

この回収により、小型家電に含まれる有用金属が再資源化され、有効利用されます。

引き続き、市内18カ所の拠点回収及び市民まつり等のイベントでの広報や回収などを進めていきます。ご協力をお願いします。

《回収品目BEST3》

- 1位 携帯電話 2,707個
- 2位 デジタルカメラ 502個
- 3位 電話機 489個

黄色の回収ボックスをご存知ですか？

《設置場所》

各区役所・支所 各生活環境事業所・ヨネッティー堤根・ヨネッティー王禅寺・橘リサイクルコミュニティセンター・かわさきエコ暮らし未来館



小型家電に関するお問い合わせは環境局廃棄物政策担当まで 【電話 200-3721】

編集後記

街なかで小学生が描いた「まちの美化」を呼びかける絵を見る機会が増えたように感じます。先月も「環境月間」の展示のために市内の小学校に絵をお借りしましたが、眺めているだけで癒された気分になり、絵を見た人は「協力しよう」という気持ちになるのではないかと思います。

編集・発行
〒210-8577(住所はなくても届きます)
川崎市環境局減量推進課普及広報係
電話:044(200)2580 FAX:044(200)3923
電子メール:30genryo@city.kawasaki.jp